

創立20周年記念事業

Izumi South Rotary Club



20th Anniversary

20周年記念事業委員会

委員長 鈴木寿郎



2000年前、弥生時代の池上曾根遺跡は、どのような姿をしていたのか和泉南ロータリークラブ創立20周年事業として、弥生時代の「池上曾根遺跡・想像復元図」記念碑を、池上曾根遺跡公園の情報館前に寄贈致しました。

記念碑制作にあたっては、遺跡発掘に携わった人達の指導を頂き当時の弥生人の住居・倉庫・祀りの場所や工房・水田等の想像図を、黒御影石（約4トン）に復元し、当時の生活様式がどのような姿で有ったかを将来の時代を担う子供達や、一般の方々にも広く知って頂く願いを込めて寄贈致しました。

除幕式には和泉市長様、油谷教育長様始め、行政の皆様にご臨席を賜り平成17年2月28日晴天にも恵まれた穏やかな日の中、盛大に挙行する事が出来ました。

尚、稲田市長様より永年に渡り歴史を語り継ぐ貴重な記念碑を寄贈して頂いたと感謝のお言葉を頂いております。

池上曾根遺跡とは

池上曾根遺跡は今からおよそ2000年前の弥生時代に繁栄した集落跡で、約60万平方メートルの範囲をもち、まわりを環濠で囲まれています。集落の中央付近からは大型掘立柱建物や巨大な井戸をはじめとする各種遺構が計画的に配置され、土器・石器・木器などの大量の建物が発見されていることから、池上曾根遺跡は南大阪沿岸部地域において中心的集落であったと考えられています。

史跡公園は、当時の集落を再現した「野外復元ゾーン」とガイダンスを行なう「弥生情報館」、弥生時代を体験できる「弥生学習館」で構成されており、1991年オープンした隣接する弥生文化専門の博物館「弥生文化博物館」とあわせて、広く深く弥生時代が学べます。

